

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	2日目
目標	○心身共に安定した状態で手術を受けられる	○術後合併症を起こすことなく経過する	○術後合併症を起こすことなく経過する ○上肢のリハビリを積極的に実施できる		○手術やボディイメージの変容について不安を表出することができる(本人・家族) ○日常生活の注意事項がわかる
検査	肩の動く範囲の測定 超音波検査(午後) センチネルリンパ節の撮影(午後)			下肢から血液の検査を行います 胸部のレントゲン	
食事	21時以降は絶食となります	絶食ですが、麻酔科医の指示でOS-1を飲んでください		屋食から普通食が開始となります	
	食事は自宅 				
処置	リストバンドを下肢に装着します(退院日まで装着します) 手術部位のマーキングをします →	手術室で尿の管を挿入します	術後6時間まで酸素マスクがついています	歩行可能な方は尿の管を抜去します 創の処置を行います	創の状態を確認します
点滴・内服	就寝前に睡眠薬を服用していただくことがあります センチネルリンパ節生検のための注射があります(午後)	(手術が午前の場合)手術室で点滴を行います (手術が午後の場合)病室で点滴を行います 	手術後の点滴があります ※痛み、むかつきなどがあれば看護師に申し出てください	朝より以下の内服が始まります → ・鎮痛剤 ・胃薬	
行動	制限ありません シャワーできます	洗面後、手術着に着替えてください 	床上安静となります ※患肢は翌朝まで安静にし、体の下にしないでください	歩行できます 上半身の清拭をします 下半身のみシャワーできます	主治医の指示によりリハビリを開始します シャンプーできます(看護師とご相談ください)
説明	医師より説明 ・手術と治療計画について 麻酔科医師より説明 ・麻酔について 看護師より説明 ・入院生活について ・パンフレットについて 薬剤師より説明 ・使用薬剤について		医師より説明(家人の方に) ・手術結果について 	医師より説明 ・補助化学療法について(病理組織結果により) 看護師より説明 ・療養生活について ・リハビリについて ・退院後の生活について ・補正下着について ・リンパ浮腫の予防について ・放射線治療について(予定のある方のみ)	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

35-C50-1

2024. 6. 3 版

京都第一赤十字病院

目 標

○心身ともに安定した状態で手術が受けられ、術後合併症を起こすことなく早期に社会復帰できる

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目 (退院日)
目 標	○術後合併症を起こすことなく経過する ○上肢のリハビリを積極的に実施できる ○手術やボディイメージの変容についての不安を表出することができる (本人・家族) ○日常生活の注意事項がわかる				郭清した場合など、症状によって入院治療期間を延長することがあります
検 査					
食 事					
処 置・観 察	創の状態を確認します	創の状態を確認します 創の状態がよければドレーンを抜去します (3~6日目)			退院時にリストバンドを外します
点 滴・内 服	以下の内服があります ・鎮痛剤 ・胃薬				
行 動	主治医の指示によりリハビリを開始します 創部の状態に応じてシャワーできます 	 シャンプーできます (看護師とご相談ください) 	 創部の状態に応じてシャワーできます 	 シャンプーできます (看護師とご相談ください) 	 創部の状態に応じてシャワーできます
説 明・指 導	医師より ・補助化学療法について (病理組織結果により) 看護師より ・リハビリについて ・補正下着について ・リンパ浮腫の予防について ・放射線治療について (予定のある方のみ)			医師より ・退院後の療養計画、療養上の留意点について 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)	

